

## ① 原油

どうも 130ドルに再度トライしそうですね。  
CRB指数も 318 ポイント台と、高値を更新しています。  
いよいよ本格的なインフレ第 2 段がやってきそうです。



## ② 中国

「中国政府がロシアのプーチン大統領を支持し、自国民にゼロコロナ政策を強行したことで、西側企業はこれらの政策が自社の事業環境にもたらす影響やその意味を再考せざるを得なくなっている」

中国は外需への依存をとことん減らし、巨大な国内市場を成長の基盤に据える。

中国が世界に頼るのではなく、むしろ世界が中国抜きでは立ちゆかなくなる経済秩序を築こうとしている。

「国際社会との協調を通じて自ら発展する改革開放政策の転換を意味する」

日本から中国への輸出数量は 4 月に前年同月比で 2 割減った。

## ③ 値上げ

江崎グリコは 26 日、主力商品の「ポッキー」をはじめとする菓子やアイスなどについて 8 月 23 日の出荷分から順次、値上げすると発表した。

値上げ幅は 3~24%。

価格を据え置く商品も一部は内容量を減らす。

小麦粉をはじめとする原材料価格の高騰を受けた措置。

同社の値上げは 2019 年 4 月以来となる。

「ポッキー」は店頭価格が 162 円から 171 円への値上げとなる。

157 品目で 3～24%値上げし、42 品目で内容量を 3～11%減らす。

値上げと内容量変更の対象となった 199 品目は同社の商品全体の約 3 割にあたる。

#### ④ 値上げⅡ

中国産玄ソバの東京地区の卸値は現在、1 俵(45 キログラム)9000～9500 円前後。

比較可能な 1997 年以降で最高値。

世界最大のソバの実の生産国であるロシアがウクライナに侵攻したことで、ロシア産にも供給不安が広がり中国産の価格を一段と押し上げた。

原料高を受けたそば粉の値上げが相次ぐ。

日穀製粉(長野市)や松屋製粉(栃木県上三川町)などそば製粉大手は、海外産の実を使ったそば粉を 6 月から 1～2 割値上げする。

セルフ式そば店の「ゆで太郎」を運営するゆで太郎システム(東京・品川)は 6 月 1 日から、主要メニューのもりそば・かけそばを 20 円(5.6%)引き上げる。

もりそば、かけそばの新価格は 1 杯 380 円になる。

ダイタンフードも、かけそばを 1 杯 360 円と 20 円(5.9%)引き上げる。

同社の値上げは今年 2 回目だ。

⇒ ちょっと前まで 1 杯 280 円だったそばが 380 円となってきました。

たまねぎも最近高いですね。2 倍になったとか。

今後、様々な分野で、さらなる値上げが予想されます。

#### ⑤ 中古マンション

東京カンテイ(東京・品川)がまとめた 4 月の首都圏の中古マンション平均希望売り出し価格(70 平方メートル換算)は、3 月に比べ 29 万円(0.6%)高い 4688 万円だった。

12 カ月連続の値上がりとなり、1 都 3 県全てで前月比プラスだった。

供給戸数が少ない新築マンションに比べて中古物件は割安感が強く、都市近郊を含めた広い範囲で堅調な需要がみられた。

東京 23 区では 11 万円(0.2%)高い 6795 万円だった。

価格全体は高水準で推移している一方、継続的な価格上昇で消費者が購入を手控える動きも出ている。

「メガバンクを中心に住宅ローン金利の引き上げも起きており、住宅購入を急ぐ消費者心理が強まる可能性がある」